

「EPR工法」は、下水道管渠を「非開削」で補修・更生することのできる技術です。
ガラス繊維に「常温硬化性エポキシ樹脂」を含ませたライニング材を
施工現場で硬化させて補修することができます。

◆特徴◆

- ・ 下水道を非開削で施工（内側から補修、更生）
- ・ 優れた経済性（破損個所のピンポイント施工。工期短縮コスト低減）
- ・ 水中自然硬化（水中でも短時間で自然硬化する樹脂を使用。
Aランクの浸入水があっても事前の止水が不要）
- ・ 常温自然硬化（加熱硬化による収縮がないため、止水効果抜群）



◆ EPR 工法は、さまざまな管渠に対応できます ◆

<p>EPS 型（40cm 程度の補修）</p> <p>対象管径：φ 100 mm～φ 600 mm 補修長：0.4m φ 700 mm～φ 800 mm 0.5m</p>	<p>EPL 型（3m までの補修）</p> <p>対象管径：φ 100 mm～φ 400 mm 補修長：3m φ 450 mm～φ 600 mm 2m</p>
<p>EPF 型（本管と取付管接合部）</p> <p>接合部を保護、補強して完全止水する技術です。一体型接続技術により抜群の耐久性を發揮します。</p> <p>対象管径： φ 150～φ 600 mm（本管） φ 100～φ 200 mm（取付管）</p>	<p>EPI 型（本管とマンホールの接合部）</p> <p>破損、クラックが最も発生しやすい接合部を補修、補強する技術です。強度、耐久性に優れた工法です。</p> <p>対象管径： φ 150～φ 300 mm</p>

上記は補修箇所の一例です。他にもφ 900 mm以上の大口徑管渠補修や、その取付管接合部補修などもあります。

有限会社 アースエンタープライズ

公益社団法人 日本下水道管路管理業協会
EPR 工法協会 ツインドリル工法協会
スルーリング工法協会

〒321-4334 栃木県真岡市八木岡 201-1
代表取締役 永島 岩男
TEL 0285-84-8562 FAX 0285-84-8563
メール：earth-ep@arion.ocn.ne.jp

営業種目

- 下水道処理施設 清掃・メンテナンス
- 下水道管渠 清掃業務
- 排水管 清掃業務
- 下水道管渠 TV カメラ調査業務
- 下水道管渠 目視調査業務
- 下水道管渠 流量調査業務
- 産業廃棄物 収集運搬業
- 下水道マンホール蓋交換工事(GMラウンド工法)
- ステップ交換工事(ツインドリル工法)
- 下水道管渠 補修工事・管更生工事
- 下水道処理施設 運転管理業務
- 飲料水貯水槽 清掃業務